



○法人川や海を守り伝統を伝える会主催）が5日、大船町のホテル函館ひろめ荘で開かれた。漁業関係者ら約30人が集まり、国際的な視点から理解を深めた。

（後藤 真）

東アジアの政策事例紹介

点りシ
視在たム
のっウ
業探ジ
的漁業
国際で
方ポ

同シンポジウムは年1、2回、南茅部地域を会場にして開催し、今回で4回目。「海洋保護区と漁業者の役割」国

際・国内・地域のつながり」と題して開いた。基調講演では海洋政策研究財団研究員の脇田和美さんが

脇田さんは5年ほど前にフィンボジアの漁村で起こった小規模漁業者と大規模商業漁業者との衝突事例を紹介。「大規模漁業者が漁獲高を増やすために地域漁業区域へ侵入するなどして衝突し、死者も出るほど深刻な問題があった。しかしPEMSEAなど複数の機関が協力し、海洋保護区を設定して人工魚礁も設置し

関係の教授や研究者ら5人が参加したパネルディスカッションも開かれ、国際的な視点から漁業の今後を議論した。

社会福祉士研修会
9日まで参加者募集

道社会福祉士道南地区支部は、12日午後2時から函館短大（高丘町52）で開催する研修会の参加者を募集している。

研修では、札幌市スクールソーシャルワーカースーパー

まうつし之儀
時、告別発葬
10時から枯梗
館ベルコ会館
行（しげゆき）
大丸松坂屋
務、山本勝美
山本トシエ
と・としえ、川
町1の15の、
時52分死去し
ん、山本みど
どりさんの母。
後6時、葬儀
から湯川町1本
寺。喪主は夫
お）さん。

元日本ペイ、
所長
住田俊雄さ
しお62歳。三
の17）3日午
した。海上保

【北斗】ペンドクターを招き万年筆の修理に励む、石田文具（石田光広社長）の「セーラー・ペンクリニック」が5日、北斗市七重浜2の同店で始まった。多数の来店者が愛用品の万年筆の修理を依頼した。6日まで。

ペンクリニックは2005年から毎年この時期に行っていて、毎回、セーラー万年筆（東京）のペンドクター、川口明弘さん（64）が修理に励んでいる。開場と同時に依頼者が次々と訪れ、午前中だけでも約40人が受診した。川口さんは依頼者からペンの症状を聞き、ルーペでペン先をじっくり観察。特殊な道具を使ってインクの詰まりな

「愛用万年筆」次々修理

どを修理し、依頼者も書き味が良くなった万年筆に笑顔を見せていた。

札幌から来店した男性（37）は「新しく購入した万年筆を自分に合った筆先に調整してもらった。これから手紙や年賀状を書くのが楽しみ」と話していた。

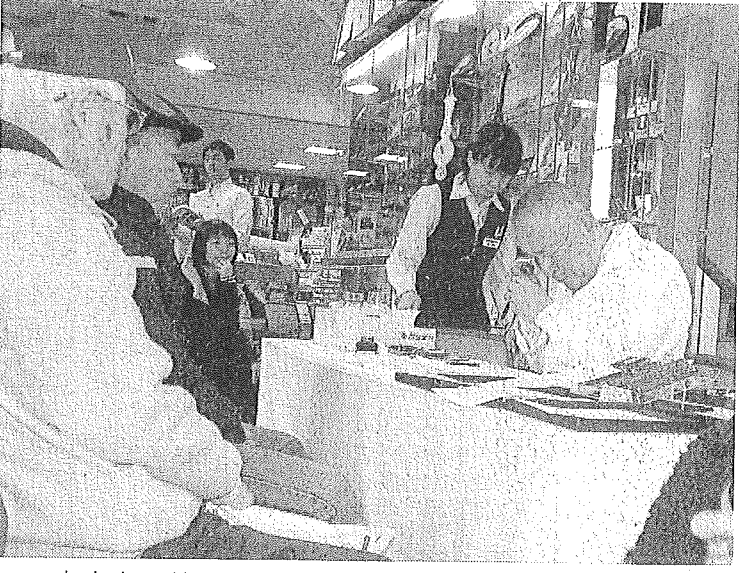
石田文具きょうまで

川口さんは「函館は万年筆で書く文化があると感じる。希少価値のある昔の万年筆と出会うこともある」と話す。

6日は午前10時から午後5時まで。ペンクリニックは部品代以外無料。問い合わせは同店 ☎0138・49・3171。

（鈴木 潤）

ペンドクター川口さん診断



来店客の前で万年筆の修理をする川口さん（右）

65歳女性 自宅で死亡

傷害容疑、42歳息子逮捕

森 町

【森】5日午前6時10分ごろ、森町鳥崎町、無職小林英子さん（65）が自宅で死んで

を傷害の疑いで逮捕した。逮捕容疑は、10月下旬の夕方、自宅居間で英子さんの顔

英子さん（二人暮らし）。回答疑者は5日午前4時半時ごろ、居間で倒れている英子さんを発見。親類に「英子さんが居間であお向けになっていた死んでいるようだ」と連絡したという。

英子さんの遺体は6日、札幌市内で司法解剖され死因の特定を急ぐほか、死亡と暴行の因果関係などを調べる。

現場は住宅地の一角。以前、水産加工場に勤めていた英子さんを知る女性は「仕事

は真面目だったが、息子さんのことでは気苦労が絶えなかったようだ」と話す。また、近所に住む女性は「ここ数カ月は英子さんの姿を見なかった。まさか、こんな形で亡くなる」と話していた。

共愛会病院勤務
高奥弘美さん（たかおくひろみ）38歳。函館市美原3の60の31）3日午後10時5分死去した。高奥ケイ子さんの長女。函館バス昭和営業所勤務、高奥勝行さんの妹。みた

おぐやみ
申しあげます

母
吉仙勤務、藤田幸枝さんの
熊澤梅乃さん（くまさわうめ）1102歳。函館市弁天町16の21）5日午前6時43分死去した。熊澤章さん、伊藤栄子さん、熊澤勝男さん、藤田幸枝さん、熊澤幸雄さんの母。通夜は6日午後6時、葬儀は7日午後2時から大縄町16の28、平安ホール白雲殿。喪主は三男・勲（いさお）さん。